



平成31年度

練馬区立光が丘四季の香小学校経営計画

校長 高野博文

<基本的な考え>

本校の校章に込められた思い(児童・保護者・教職員・地域の連携)を受け、児童の健全な成長を保証し、学校に関わるすべての人々が誇りに思い、保護者・地域から信頼される学校を継承する。

1 目指す学校

(1) 目指す学校像

・ 楽しい学校 ・ 安心できる学校 ・ きれいな学校

(ア) 楽しい学校(子供が満足感を味わえる学校を目指す)

- 達成感・充実感・満足感・存在感から生まれる「楽しさ」(自己肯定感)
- 「新しい発見の喜び」「分かる・できる喜び」を実感できる「楽しさ」
- 教職員が自ら考えて行動し、教育実践を通して成長し、経営参画できる「楽しさ」

(イ) 安心できる学校(保護者・地域との連携と信頼される学校を目指す)

- 人権尊重の教育の充実(いじめや差別のない学校)
- 生命を大切にす教育(安全確保と事故防止・危機を察知する能力・規範意識)
- 保護者や地域との協働・連携の推進

(ウ) きれいな学校(クリーンな学校を目指す)

- 開かれた学校(授業公開・行事への取組・HP、各種たより等の発信の充実)
- 教育環境の充実(教師の言動、教室内外の整備、職員室の整備)
- 公費の有効活用(税金の行使という意識の向上)
- サービスの厳正(24時間、365日 公務員としての自覚ある言動)

(2) 目指す児童像(教育目標) ◎は重点目標

○ 自ら考える子 ○ 思いやりのある子 ◎ たくましい子

(ア) 自ら考える子の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」を実践し、思考力育成の充実
- 確かな学力の定着と向上(問題解決型学習、基礎・基本の定着・言語活動の重視)

(イ) 思いやりのある子の育成

- 「人との関わりを大切にする子」の育成に向けた道徳教育の充実
- 「豊かな心を育む」異学年交流の充実(キャリア教育の基礎)

(ウ) たくましい子(重点目標)

- 「自分自身の健全な成長と体力向上を考え実践できる子」の育成に向けた保健・体育科授業の充実(校内研究)
- 児童の健康保持・体力向上を図るための栄養士を中心とした食育の充実

(3) 本校の特色を生かした学校経営

- 地域に根ざした学校づくりの実践
- 小中一貫教育の継続推進(外国語・英語教育の充実)
- こぶしルームとの連携教育及び幼・保・小連携教育の継続と充実
- 光が丘図書館との連携教育(図書活動の充実)

2 今年度の取り組み目標と方策

(1) 教育活動の目標

児童・教職員が、ともに日々成長していることを実感し、喜べる学校

(2) 教育活動の目標達成のための方策

(ア) 児童主体の授業づくり（自己肯定感を育てる）

- 児童の知的好奇心をゆさぶり、満足感・充実感のある授業づくり
- 「主体的・対話的で深い学び」による思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり
- 問題解決型授業展開で、自らの成長を感じさせる授業づくり
- 友だちとの関わりの中で学びあう楽しさを味わえる授業づくり
- 3学期制による、学習の継続性を生かした学習目標の設定及び授業づくり
- プログラミング教育の実践

(イ) 生活指導の充実（「自分の命は自分で守る」態度の育成）

- 安全教育の徹底：自転車安全教室（3年）の実施、セーフティ教室の充実ほか
- 「あいさつ運動」の継続：いつでも・誰とでも・笑顔で・明るい声で
- 生活指導全体会や校内（いじめ対策）委員会を通しての児童理解と指導の共通化
- 防災教育の充実（避難訓練、区一斉防災訓練、防災教育補助教材の活用等）

(ウ) 個を生かした指導

- 特別支援教育の充実：情報の共有化・指導方法の共通化
- 教育相談活動の充実：一丸となった指導体制
- 特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー・心のふれあい相談員との連携
- 習熟度別指導（算数）等におけるきめ細かな指導体制の継続
- 特別支援教室拠点校として、リーダーシップを発揮した指導体制づくり

(エ) 授業を通して資質向上を図る教師

- 校内研究の充実 ◇テーマ未定 ～サブテーマ未定～（保健体育科）
- 教育環境の充実（教師の言葉は、最高の言語環境）
- オリンピック・パラリンピック教育を通じた教員の資質向上
- 主幹教諭・主任教諭を中心とした OJT の推進
- 道徳授業地区公開講座や学校公開における授業の充実
- 自己の専門性を磨く教師（区・都教育研究会等への参加）
- 週ごとの指導計画による見通しをもった授業計画と実践
- 授業観察時における授業の評価と改善（年3回の授業観察）

(オ) 保護者や地域及び学校関係諸機関と連携した指導

- 学校公開（運動会・授業参観・道徳授業地区公開講座・学芸会等）
- 「児童・生徒・教師間の豊かなコミュニケーションをはぐくむ小中の連携」を研究主題とした小中一貫教育の推進
- 教育活動の啓発（学校だより・学年だより・ホームページの更新ほか）
- 保護者会、個人面談及びPTA活動等を通じた保護者との連携
- 「学校安全安心ボランティア」「こども 110 番」等との連携
- 「学校サポートチーム」（学校評議員、民生児童委員、民生委員ほか）との連携
- 地域行事への参加
- 光が丘図書館と連携した読書活動の推進（学校図書館管理員の活用）
- 学校関係者評価委員会（学校評議員会）の開催（年3回）とその評価と改善

(カ) 教職員の働き方改革

- 問題及び課題解決に向けた組織での対応による個への負担軽減
- 校務・組織の合理化による職務軽減及び「ライフワークバランス」の確立
- 地域連携事業の活用による教職員の負担軽減